



おらが湊鐵道応援団報

第3号

勝田 阿字ヶ浦

湊線存続活動は新しいまちづくりの始まり!!



沿線の高校生が「通学になくてならない鉄道」として存続を訴え、那珂湊二高からは、いつも利用している殿山駅や沿線に市の花(ハマギク)を植えるために約千本を育苗中であることが伝えられました。

5月27日に文化会館において「湊線を存続させるための講演会」が開催され、400名以上の参加者で会場が埋め尽くされました。本間源基市長の挨拶で始まり、2つの講演と3つの報告が行われた。特に、採算性がなかった富山県の万葉線が、市民、行政、事業者が一体となり知恵を出し合い、第3セクターとして存続に至った経緯を説明。「市民の皆さんの鉄道を残したいという思いが存続につながった」と力強く述べました。また、沿線の県立高校三校の生徒達が、「通学になくてはならない鉄道として「乗って残そう湊鐵道線」の横断幕を掲げ存続を訴えました。当日、講演会に参加した一人から「湊線が市と地域住民を繋ぐ新しいまちづくりの架橋となればいいですね」という意見もでるなど市民との一体感も高まりました。

応援団実行委員会が動き出しました

湊線の存続は、地域づくり、まちづくりに大きく関わっており、応援団の3つの専門部会(実行委員会)が各駅散策マップや夏のイベント企画を手始めに活動を開始しました。Ⅰ湊線利用促進・地域づくり委員会(委員長:磯崎忠男)Ⅱ湊線のサービス向上委員会(委員長:大川健次)Ⅲ湊線存続とまちづくり委員会(委員長:菅谷治文)(敬称略)

委員会	活動内容
I	湊線の乗客増大を図る湊線乗車企画事業の立案・実施
II	茨交への改善取り組みや利用客の快適性・利便性などの提案・実施
III	湊線の存続運動推進とまちづくり並びに産業の振興

湊線乗車特典サービス企画(7/1~)

- ◆那珂湊・平磯・阿字ヶ浦地区の(予告) **得**
宿泊施設『宿泊優待サービス』
 - ◆お魚市場・本町通り商店街『お買い物サービス』
 - ◆おらが湊鐵道応援団『レンタサイクル』6/16~
 - ◆『夏季イベント優待サービス』(詳細ホームページにも掲載予定)
- ①第13回阿字ヶ浦海岸花火大会 7/30(月) 阿字ヶ浦海岸
 - ②第13回ひたちなか祭り花火大会 8/18(土) 自衛隊
 - ③第20回那珂湊海上花火大会 8/23(木) 那珂湊漁港
 - ④平磯三社祭 8/4(土) 8/5(日) 平磯学習センター付近
 - ⑥みなとフェスタ 8/25(土) 那珂湊本町通り商店街
 - ⑥ビックウエーブ 9/8(土) 9/9(日) 魚市場駐車場

湊線サプライズ



ご利用ありがとうございます。

阿字ヶ浦へ向かう津田成人学級の皆さん(41名)



初登場! 市毛のちびっ子応援団

ピックス

6月1日~12日まで、那珂湊図書館で元那珂湊駅長の柏昭太郎さんによる昔の湊線の写真と資料展が開かれました。今後、市内公民館でも開催される予定です。



青函連絡船で運んだ車両説明をする柏元駅長さん

行事予定

- ◆高校生のハマギク植栽(予定)
日時 7月14日(土)
場所 湊線 殿山駅
- ◆みなとまちなか漫遊
期間 7月1日~9月30日

- ①幕末の国防のまちめぐり
 - ②まちかど博物館めぐり
- 詳細はJR各駅にある冊子「小さな旅」をご覧ください。



漫遊マップは、那珂湊駅にあります。

応援団会員数 **1,838名** (6月18日現在)



ホットニュース

応援団 レンタサイクルで歴史・潮騒・ふれあいのまち 那珂湊を自転車で走ろう!!



レンタサイクル初日(6/16)

- 4時間 100円 (応援団員は半額)
- 8時間 200円
- 預り金 1,000円 (自転車返却時に返金)
- 午前9時~午後5時 那珂湊駅で貸出・返却

那珂湊駅近くに通勤用駐車場を整備

市は定期券購入者用に那珂湊駅近くに無料駐車場(30台)を用意しました。排気ガス削減のためにヨーロッパなどでさかんなパークアンドライド! ぜひご利用下さい。



◆那珂湊駅でボランティア募集

(ボランティアスタッフ募集の内容)

- ①活動時間 毎日 9:00~15:00 (当方は土日のみ活動)
 - ②従事日程 A) 週日全て従事可能 B) 曜日指定制 (日曜~月曜間)
 - ③従事時間 A) 全時間帯従事可能 B) 午前の部のみ (9:00~12:00) C) 午後の部のみ (12:00~15:00)
 - ④交通手段 徒歩、自転車、湊線、バス、車
 - ⑤制服 活動拠点に備付のものを着用する。
 - ⑥その他 後日活動要領説明会を開催します。
 - ⑦募集締切日 7月13日
- ※詳細・お申込は、おらが湊鐵道応援団事務局まで

募集